

埼玉県秩父市下影森方言の助数詞

新井 小枝子

I. はじめに

(1) 調査対象地：秩父市は、埼玉県の南西部に位置し南は東京都奥多摩町と接している。市の東は秩父郡横瀬町、西は吉田町・小鹿野町・荒川村、北は皆野町・長瀬町・東秩父村と接している。県庁所在地浦和市からは西へ約60km離れている。地形は南北に長く、市の東と南が山間地帯である。下影森は市のおよそ中央部にあり、市街地にもごく近い所にある。秩父市を縦断する秩父鉄道が集落内を走っており、近くには影森駅がある。東京方面への足となる西武秩父線の駅へは約3km。主な産業は農業。かつては養蚕の盛んな土地だったが、近年ではぶどうの生産が多くなっている。12月に行われる秩父夜祭りは、県外から多くの人が集まってくる。

(2) 調査年月日：1996年6月21日（金） 午前9時00分～午後1時30分

(3) 話者：加藤丈佳氏 昭和11年1月2日生まれ (60歳)

加藤カネノさん 昭和11年6月21日生まれ (60歳)

加藤チヨさん 明治42年9月25日生まれ (89歳)

丈佳氏は、秩父市下影森の生え抜き。カネノさんの言語形成地は、秩父市の隣町である横瀬町。昭和34年に丈佳氏と結婚し、それ以来秩父市で過ごしている。お二人で、養蚕を中心とした農業を営んできた。チヨさんは、10歳の時（それまでは福島県で育つ）から秩父市で過ごしている。調査は、丈佳氏を中心に行った。なお、調査の際には村上真紀子さんにお世話になった。記して感謝申し上げる。

(4) 調査者・調査場所：新井小枝子・話者の自宅

(5) 調査方法：統一調査票による質問調査を主とした。

(6) 表記方法・その他：①複数回答があったものは、使用頻度が高い順に(1)、(2)、(3)・・・として記述した。また、～を介して記述したものは、その数のときのみ併用される形態であることを示す。②誘導しても数えられないものについては、それが現実世界での実態であると考え、項目の後に×で記述する。なお、それに関して発話された文表現のみを示す。③アクセントは高の拍に棒引きで示す。④調査項目にはないもので、臨地調査によって新たにつけ加えたものは、関連項目の後に続けて、○付きの番号で記述する。⑤その他、話者からの特別な説明があった場合は、助数詞の記述後に示す。

II. 調査結果

A 天地

1 星：つ $\overline{\text{ヒトツ}}$ 、 $\overline{\text{フタツ}}$ 、 $\overline{\text{ミツツ}}$ 、 $\overline{\text{ヨツツ}}$ ・・・ $\overline{\text{ト一}}$

2 波：波 $\overline{\text{ヒトナミ}}$ 、 $\overline{\text{フタナミ}}$ 、 $\overline{\text{ミナミ}}$ 、 $\overline{\text{ヨナミ}}$ ・・・ $\overline{\text{トナミ}}$

- 3 つらら：イッボン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッボン
 4 雪だるま：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…トー
 5 小石 (1) 個：イッコ、ニコ、サンコ、ヨンコ…ジュッコ (2)：つ ヒトツ、
 タツ、ミツツ、ヨツツ…トー
 6 集落：部落 ヒトブラク、フタブラク、ミブラク、ヨブラク…ジューブラク
 あまり数えることがない対象である。

B 動植物

- 1 牛：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ
 2 犬：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ
 3 熊：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ
 4 ねずみ：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ
 5 兎：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ
 6 鶏：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ
 7 蛇：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ
 8 おたまじゃくし (1)：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ
 9 とかげ：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ
 10 蟬：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ

実際の文表現では次のように、「つ」が表れる。

○ヒトツ フタツ トマツテル。(一つ二つ止まっている。)

- 11 蝸：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ

蟬と同様に、実際の文表現では次のような場合にのみ「つ」が表れる。

○ハエガ ヒトツバツカリ ウルセー。(蝸が一つばかりうるさい。)

- 12 蚤：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ
 13 烏賊・蛸：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…トー

生きているものを想像できず、食材として売っているものを数えた。

- ① 蚕 (1)：匹 イッピキ、ニヒキ、サンビキ、ヨンヒキ…ジッピキ (2)：頭 イ
 ットー、ニトー、サントー、ヨントー…ジュットー

(2)は主に養蚕教師が使っており、飼育指導によって秩父方言にもたらされた助数
 詞である。

- 14 木：本 イッボン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッボン
 15 木の葉：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
 16 竹：本 イッボン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッボン
 17 植木(鉢植え)：鉢 ヒトハチ、フタハチ、ミハチ、ヨハチ…トッパチ
 18 花(切り花)：本 イッボン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッボン

- 19 花（そのもの）：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ・・・トー
 20 花びら（各々）：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ・・・ジューマイ

C 人

- 1 人：り、人 ヒトリ、フタリ、サンニン、ヨニン・・・ジューニン

- 2 腕：本 イッポン、三ホン

数えようとすれば「本」を用いるが、数えにくい対象である。

- 3 足：本 イッポン、三ホン

腕と同様。

- 4 歩幅：歩 イッポ、三ホ、サンボ、ヨンホ・・・ジュッポ

- 5 指：本 イッポン、三ホン、サンボン、ヨンホン・・・ジュッポン

あまり数えることのない対象である。

- 6 毛髪：本 イッポン、三ホン、サンボン、ヨンホン・・・ジュッポン

- 7 歯：本 イッポン、三ホン、サンボン、ヨンホン・・・ジュッポン

- 8 しわ (1)：本 イッポン、三ホン、サンボン、ヨンホン・・・ジュッポン (2)：つ
 ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ・・・トー

- 9 ほくろ：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ・・・トー

D 農業

- 1 田：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ・・・ジューマイ

- 2 畑：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ・・・ジューマイ

- 3 畝（うね）：作 ヒトサク、フタサク、ミサク、ヨサク・・・トサク

- 4 堆肥の山：山 ヒトヤマ、フタヤマ、ミヤマ、ヨヤマ・・・トヤマ

実際の生活では堆肥を山にしておいたことはなく、タイヒゴヤ（堆肥小屋）の中に堆肥を入れて、雨漏りをしないようにして乾燥させた。

- 5 堆肥を箆で担いだときの肥（こえ）：×

堆肥はリヤカーによって運搬した。その数え方には「台」を用い、次のような文表現の中に現れる。

○リヤカーニ サンダイ ハコンダヨ。（リヤカーに三台運んだよ。）

- 6 堆肥をそりに載せた肥：×

- 7 天秤棒で担いだ2桶の肥：荷 イッカ、三カ、サンカ、ヨンカ・・・ジュッカ

○テンビンポーニ ジュッカモ カツイダ。（天秤棒に十荷も担いだ。）

大八車の形に似たモノグサゲルマ（ものぐさ車）というものがあり、天秤棒で担ぐのを面倒くさがって、この車に乗せて運んだという。これに付される助数詞は「台」。

- 8 7の桶の各々：桶 ヒトオケ、フタオケ、ミオケ、ヨオケ・・・トオケ

- 9 天秤棒：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 10 肥樽：× 8の桶と同じもの。
- 11 田おこしをしたひとかたまりの土：くれ ヒトツクレ、フタツクレ、ミツクレ、ヨツクレ…トツクレ
- 12 代掻（しろかき）の回数：回り ヒトマワリ、フタマワリ、ミマワリ、ヨマワリ…トマワリ
- 13 苗代の区画：短冊 ヒトタンザク、フタタンザク、ミタンザク、ヨタンザク…ジュッタンザク
- 14 種初（蒔くときの単位）：×
- 15 野菜の種：粒 ヒトツブ、フタツブ、ミツツブ、ヨツツブ…トツブ
キュウリやかぼちゃの種を想定した助数詞。
- ① 蚕の卵：粒 ヒトツブ、フタツブ、ミツツブ、ヨツツブ…トツブ
蚕の卵はタネ（種）と言い、「リユ－（粒）」という助数詞もある。その場合は、例えば、ニマンリユ－（二万粒）などのように、数が大きくなったときに用いる。そしてその卵は、以下のように助数詞「枚」を付して購入される。
：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジュ－マイ
蚕の卵が紙に産みつけられていたことを語っている。
- ② 蚕の繭：粒 ヒトツブ、フタツブ、ミツツブ、ヨツツブ…トツブ
- 16 稲の苗箱（機械植えの場合）：箱 ヒトハコ、フタハコ、ミハコ～ミッパコ、ヨハコ～ヨッパコ…トッパコ
- 17 手植えの時の苗束：束 ヒトタバ、フタタバ、ミタバ、ヨタバ…トタバ
- 18 苗の一握り：17手植えの時の苗束と同様。
実際の表現では次のようなものが見られる。
○アト ヒトニギリ ホシーナー。（あと一握り欲しいな。）
- 19 苗の植え筋：作 ヒトサク、フタサク、ミサク、ヨサク…トサク
- 20 稲束：掴み ヒトツカミ、フタツカミ、ミツカミ、ヨツカミ…トツカミ
イツツカミ（五掴み）を束にしてヒトハンデ（一はんで）。ジュ－ニハンデ（十二はんで）を束にすると、イッソク（一束）。それぞれの助数詞は以下の通り。
：はんで ヒトハンデ、フタハンデ、ミハンデ、ヨハンデ…トハンデ
：束 イッソク、ニソク、サンソク、ヨンソク…ジュッソク～ジュッパ
- 22 稲架の支柱：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 23 稲架の横木：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
稲架の状態に出来上がったものは、助数詞「段」を付して数える。
- 24 稲むら：×
- 25 鳥追いの目玉：つ ヒトツ、フタツ、ミツ、ヨツ…ト

- 26 かかし：つ ヒトツ、フタツ、ミツ、ヨツ…ト
- ③ かかし用の網： ヒトアミ、フタアミ、ミアミ、ヨアミ…トアミ
- 27 稲の株：株 ヒトカブ、フタカブ、ミカブ、ヨカブ…トカブ
- 28 米俵：俵 イッピョー、ニヒョー、サンヒョー、ヨンヒョー…ジュッピョー
- 29 30kg米袋：袋 ヒトツブクロ、フタツブクロ、ミツブクロ、ヨツブクロ…トツブクロ
一俵の半分になるのでハンビョー（半俵）と言う。また、助数詞「袋」から、米を袋に入れて保存していることがうかがえる。
- 30 耕運機：台 イチダイ、ニダイ、サンダイ、ヨンダイ…ジューダイ
- 31 鋤：丁 イッチョー、ニチョー、サンチョー、ヨンチョー…ジュッチョー
- 32 鋤：丁 イッチョー、ニチョー、サンチョー、ヨンチョー…ジュッチョー
- 33 スコップ：丁 イッチョー、ニチョー、サンチョー、ヨンチョー…ジュッチョー
- 34 移植ごて：つ ヒトツ、フタツ、ミツ、ヨツ…ト
- 35 鎌：丁 イッチョー、ニチョー、サンチョー、ヨンチョー…ジュッチョー
- 36 草刈り用の籠に入れた草：背 ヒトセ、フタセ、ミセ、ヨセ…トセ

実際の表現は次のようになる。

○ヒトセ イツテクラー。（一背行って来るわ。）

また、次のように助数詞「回」を用いても、籠で草刈りに行ったこと表現する。

○サンカイカ ヨンカイワ カッタヨ。（三回か四回は刈ったよ。）

- 37 槌（大豆などをさやから叩いて落とす）：つ ヒトツ、フタツ、ミツ、ヨツ…ト

- 38 リヤカー：台 イチダイ、ニダイ、サンダイ、ヨンダイ…ジューダイ

- 39 笠：つ ヒトツ、フタツ、ミツ、ヨツ…ト

- 40 一輪車：台 イチダイ、ニダイ、サンダイ、ヨンダイ…ジューダイ

- 41 蓑：つ ヒトツ、フタツ、ミツ、ヨツ…ト

- 42 合羽：つ ヒトツ、フタツ、ミツ、ヨツ…ト

- 43 むしろ：つ ヒトツ、フタツ、ミツ、ヨツ…ト

- 44 梯子：つ ヒトツ、フタツ、ミツ、ヨツ…ト

- ④ 蚕の飼育籠：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ

竹で編まれたもので籠と呼ばれるが、形が平らであることから、「枚」が用いられる。

- ⑤ 蚕の棚の段数：段 イチダン、ニダン、サンダン、ヨダン…ジューダン

E 衣服

- 1 和服：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ

- 2 背広：着 イッチャク、ニチャク、サンチャク、ヨンチャク…ジュッチャク

- 3 ズボン：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 4 シャツ：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 5 エプロン：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 6 おむつ：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
紙のおむつも同様。
- 7 手拭い：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 8 帯：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 9 紐：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 10 ボタン (1)：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一 (2)：個 イッコ、
ニコ、サンコ、ヨンコ…ジュッコ
- 11 手袋（一組）：足 イッソク、ニソク、サンソク、ヨンソク…ジュッソク
- 12 靴下（一組）：足 イッソク、ニソク、サンソク、ヨンソク…ジュッソク
着物用の足袋も同様。
- 13 はきもの（一組）：足 イッソク、ニソク、サンソク、ヨンソク…ジュッソク
下駄、草履、長靴等も同様。
- 14 麦わら帽子：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 15 布団：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 16 掛け布団と敷き布団の一揃い：組 ヒトクミ～ヒトカサネ、フタクミ、ミクミ、ヨク
ミ…トクミ
- 17 敷布（シート）：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 18 枕：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 19 座布団：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 20 カーテン：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ

F 食

- 1 食事の回数：回 イッカイ、ニカイ、サンカイ、ヨンカイ…ジュッカイ
- 2 料理の品数：品 ヒトシナ、フタシナ、ミシナ、ヨシナ…トシナ
- 3 飯：杯 イッパイ、ニハイ、サンバイ、ヨンハイ…ジュッパイ
- 4 汁：杯 イッパイ、ニハイ、サンバイ、ヨンハイ…ジュッパイ
- 5 おにぎり：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 6 うどん（乾麺）：束 ヒトタバ、フタタバ、ミッタバ、ヨッタバ…トッタバ
- 7 うどん（ゆで麺）：ぼっち ヒトボッチ、フタバッチ、ミボッチ、ヨボッチ…トボッ
チ
- 8 食パン（切つてあるもの）：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマ
イ

- 9 食パン（切っていないもの）：斤 イッキン、ニキン、サンキン、ヨンキン…ジュッキン
- 10 菓子パン：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
- 11 餅（白に入っているつきたての餅）：白 ヒトウス、フタウス、ミウス、ヨウス…トウス
- 12 餅（平たくのしたもの）：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 13 餅（四角く切ったもの）：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 14 餅（丸めたもの）：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
- 15 鏡餅（重なった物）：組 ヒトクミ、フタクミ、ミクミ、ヨクミ…トクミ
- 16 鏡餅（個々）：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
- 17 菓子箱：箱 ヒトハコ、フタツパコ、ミツパコ、ヨツパコ…トツパコ
- 18 饅頭：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
- 19 羊かん：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 20 煎餅：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 21 飴玉：粒 ヒトツブ、フタツブ、ミツツブ、ヨツツブ…トツブ
- 22 卵：個 イッコ、ニコ、サンコ、ヨンコ…ジュッコ
- 23 豆腐：丁 イッチョー、ニチョー、サンチョー、ヨンチョー…ジュッチョー
- 24 こんにゃく：丁 イッチョー、ニチョー、サンチョー、ヨンチョー…ジュッチョー
- 25 油揚げ：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 26 海苔：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 十枚まとまると、イチジョー（一帖）となり、助数詞は以下のように表れる。
- ：帖 イチジョー、ニジョー、サンジョー、ヨンジョー…ジュージョー
- 27 魚の切り身：切れ ヒトッキレ、フタッキレ、ミッキレ、ヨッキレ…トッキレ
- 28 にぼし（個々）：匹 イッピキ、ニヒキ、サンピキ、ヨンヒキ…ジッピキ
- 魚の形が残っているので生きている魚と同様に「匹」を用いる。
- 29 するめ：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 30 キャベツ（1）：個 イッコ、ニコ、サンコ、ヨンコ…ジュッコ（2）：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
- 31 白菜（1）：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト（2）：株 ヒトツカブ、フタツカブ、ミツカブ、ヨツカブ…ジュツカブ
- 32 玉葱：個 イッコ、ニコ、サンコ、ヨンコ…ジュッコ
- 33 茄子：個 イッコ、ニコ、サンコ、ヨンコ…ジュッコ
- 34 すいか（1）：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト（2）：個 イッコ、ニコ、サンコ、ヨンコ…ジュッコ
- 35 きゅうり：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン

- 36 かぼちゃ：個 イッコ、ニコ、サンコ、ヨンコ…ジュッコ
- 37 大根：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 38 さつまいも：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 39 大豆（個々）：粒 ヒトツツブ、フタツツブ、ミツツブ、ヨツツブ…トツツブ
- 40 栗：粒 ヒトツツブ、フタツツブ、ミツツブ、ヨツツブ…トツツブ
- ① 稔栗：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
- 41 苺：粒 ヒトツツブ、フタツツブ、ミツツブ、ヨツツブ…トツツブ
- 42 銚子：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 43 猪口（ちょこ）：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
- 44 薬（錠剤）（1）：粒 ヒトツツブ、フタツツブ、ミツツブ、ヨツツブ…トツツブ
（2）：錠 イチジョー、ニジョー、サンジョー、ヨンジョー…ジュージョー
- 45 薬（粉）（1）：包み ヒトツツミ、フタツツミ、ミツツミ、ヨツツミ…トツツミ
（2）：服 イップク、ニフク、サンブク、ヨンブク…ジュッブク
（1）の助数詞から、粉薬は紙に包まれていることが想像される。
- 46 薬（注射）：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン

G 住居

- 1 住宅：軒 イッケン、ニケン、サンゲン、ヨンゲン…ジュッケン
大工さんは「戸」を用い、イト、ニト、サント、ヨント…ジュットと言っていた。
- 2 部屋（1）：部屋 ヒトヘヤ、フタヘヤ、ミヘヤ、ヨヘヤ…トヘヤ（2）：間 ヒトマ、フタマ、ミマ、ヨマ…トマ
洋間と和室での使い分けはない。
- 3 窓：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
- 4 雨戸：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 5 扉：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 6 ふすま：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 7 畳：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 8 簾：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
- 9 瓦：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ

H 家具類

- 1 たんす：棹 ヒトサオ、フタサオ、ミサオ、ヨサオ…ト
十のときは、「棹」を付さないのが自然な言い方。
- 2 机：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
- 3 椅子：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト

- 4 本棚：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
棚は「段」を用い、イチダン、ニダン、サンダン、ヨダン…ジューダン
- 5 鏡：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 6 浴槽：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 7 蚊帳（かや）：張 イッチョー、ニチョー、サンチョー、ヨンチョー…ジュッチョー

I 炊事・掃除・洗濯関係

- 1 ご飯茶碗：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ジュッコ〜ト一
- 2 お椀：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ジュッコ〜ト一
- 3 どんぶり：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ジュッコ〜ト一
- 4 湯呑み茶碗：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ジュッコ〜ト一
- 5 きゅうす：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ジュッコ〜ト一
1～5は、十の時のみ「個」を併用する。
- 6 湯飲みときゅうすの一揃い：組 ヒトクミ、フタクミ、ミクミ、ヨクミ…ジュックミ
- 7 皿：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 8 つぼ：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 9 灰皿：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 10 重箱（一式）：組 ヒトクミ、フタクミ、ミクミ、ヨクミ…ジュックミ
- 11 重箱（一段一段）：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 12 弁当箱：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 13 箸（一揃い）：膳 イチゼン、ニゼン、サンゼン、ヨンゼン…ジューゼン

実際の表現は以下のように、「＝人分」となる。

○オハシオ ジューニンブン トッテ。（お箸を十人分取って。）

また、片方ずつには「本」を用い、 IPPON、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポンとなる。

- 14 水桶：桶 ヒトオケ、フタオケ、ミオケ、ヨオケ…ト一
たんすと同じように、十のときは助数詞「桶」を付さないのが自然な言い方。
- 15 ざる：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 16 ほうき：本 IPPON、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 17 雑巾：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 18 くず箆：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 19 物干し竿：本 IPPON、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン

J 日用品

- 1 櫛：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一

- 2 扇子：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
 3 傘：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
 4 提灯：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
 5 電球：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
 6 鞆：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
 7 小包：包み ヒトツツミ、フタツツミ、ミツツツミ、ヨツツツミ…トツツツミ～ジュッ
ッコ

十の時のみ、「個」を併用する。

- 8 火箸（一揃い）：ヒトクミ、フタクミ、ミクミ、ヨクミ…ジュックミ
 片方ずつは「本」を用い、イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
 9 はさみ：丁 イチョー、ニョー、サンョー、ヨンョー…ジュッチョー
 10 金槌：丁 イチョー、ニョー、サンョー、ヨンョー…ジュッチョー
 11 釘：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
 12 縄：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン

K 燃料

- 1 薪（束）：束 ヒトタバ、フタタバ、ミッタバ、ヨッタバ…トッタバ
 2 薪（一本一本）：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
 3 柴（束）：束 イツク、ニソク、サンソク、ヨンソク…ジュツク
 4 柴（一本一本）：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン

L 乗り物・交通

- 1 船：艘 イツソー、ニソー、サンソー、ヨンソー…ジュッソー

M 文房具

- 1 ものさし：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
 2 算盤：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト

N 娯楽

- 1 めんこ：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
 2 ビー玉：ちょう イチョー、ニョー、サンョー、ヨンョー…ジュッチョー
 3 お手玉：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
 4 おはじき：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
 5 風船：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト
 6 ゴムまり：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト

- 7 竹馬（一組）：組 ヒトクミ、フタクミ、ミクミ、ヨクミ…ジュックミ
片方づつは「本」を用い、イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポンとなる。
- 8 凧：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 9 独楽（こま）：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 10 羽子板（個々）：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 11 カルタ：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
絵札や読み札のそれぞれには「枚」を用い、イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイとなる。
- 12 じゃんけんすることの回数：回 イッカイ、ニカイ、サンカイ、ヨンカイ…ジュッカイ
- 13 ひな人形（一式）（1）：式 イッシキ、ニシキ、サンシキ、ヨンシキ…ジュッシキ
（2）：組 ヒトクミ、フタクミ、ミクミ、ヨクミ…ジュックミ
- 14 ひな人形（個々）：体 イツタイ、ニタイ、サントイ、ヨンタイ…ジュツタイ
- 15 碁・将棋の勝負：番 イチバン、ニバン、サンバン、ヨンバン…ジューバン
- 16 相撲の勝負：回 イッカイ、ニカイ、サンカイ、ヨンカイ…ジュッカイ
- 17 掛軸：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
「枚」は床の間に掛かっているとき、「本」は丸めてしまうときの助数詞。
平らな広がりのある面を持っていれば「枚」、長く細いものには「本」ということか。
- 18 絵画：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 19 写真：枚 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ヨンマイ…ジューマイ
- 20 歌：曲 イッキョク、ニキョク、サンキョク、ヨンキョク…ジュッキョク
- 21 太鼓：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 22 横笛：本 イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン…ジュッポン
- 23 ハーモニカ：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 24 ラッパ：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 25 ピアノ：台 イチダイ、ニダイ、サントダイ、ヨントダイ…ジューダイ
- 26 ギター：つ ヒトツ、フタツ、ミツツ、ヨツツ…ト一
- 27 宿泊の回数：晩 ヒトバン、フタババン、ミバン、ヨバン…トバン
：泊 イツパク、ニハク、サンパク、ヨンパク…ジュツパク
宿泊と言えば、専ら親戚の家だったので「晩」を用いて次のような表現が行われている。
○コンドワ ミバンモ トマッテ アソンデキタヨ。

(今度は三晩も泊まって遊んできたよ。)

「泊」は旅行の時などに用いる。

O 経済

- 1 財布：つ ヒ^一ツ、フ^一ツ、ミ^一ツ、ヨ^一ツ…ト^一
- 2 硬貨：つ ヒ^一ツ、フ^一ツ、ミ^一ツ、ヨ^一ツ…ト^一
- 3 紙幣：枚 イ^一マイ、ニ^一マイ、サン^一マイ、ヨ^一ンマイ…ジュ^一ーマイ
- 4 札束：束 ヒ^一タバ、フ^一タバ、ミ^一タバ、ヨ^一タバ ジュ^一ッタバ
- 5 はんこ：つ ヒ^一ツ、フ^一ツ、ミ^一ツ、ヨ^一ツ…ト^一

P 年中行事

- 1 門松：本 イ^一ッポン、ニ^一ホン、サン^一ボン、ヨ^一ンホン…ジュ^一ッポン
- 2 しめなわ：本 イ^一ッポン、ニ^一ホン、サン^一ボン、ヨ^一ンホン…ジュ^一ッポン

Q その他

調査によって新たにつけ加えたものは、AからPまでの調査項目と関係して出てきたものなので、それぞれの調査項目のあとに、○付きの番号で関連項目として記述した。

Ⅲ. まとめ

秩父市下影森方言における助数詞を概観すると、それらによって事物の分類が行われていることがわかる。その実態を特徴的なものに注目してまとめると以下ようになる。

①一般的に用いられているもの

つ：生命のない、あるいは生命を失っているものに対して用いられ、用途が限定されにくい。広く一般的に用いられる便利な助数詞であるといえる。

②事物の形態や形状を反映するもの

本：細長いものに対して用いられる。ただし、形を変える蛇には用いられないことから、形の一定性という限定がある。また、興味深いのは、平面上の「雨戸、扉、ふすま」に対してもこの助数詞を用いることである。立ててあることから、長いものの類に入れたか。

枚：薄くて平面上のものに対して用いられる。「田、畑」も広く平らということからの助数詞が用いられると考える。

粒：細かくて丸い形をしたものに対して用いられる。

個：ある程度の大きさの丸い形のもので、比較的固いものに対して用いられる。

段：上下に、かつ空間をもって重なっているそのひとつひとつに対して用いられる。

山：山型に積み上げられたものに対して用いられる。

短冊：短冊状に仕切られたものに対して用いられる。

匹：主に生きている動物に対して用いられ、その大きさや形には限定されない。ただし、煮干しのように、生命は失っているが、その形を留めているものに対しては許容される。

生き物に対する助数詞には、この他に「頭」がある。秩父市は養蚕の盛んに行われた土地であり、昆虫の「蚕」に「トー（頭）」を用いる。養蚕教師によってもたらされたこの助数詞は、多用されることがなかったものの、秩父市で養蚕が盛んであったからこそ、助数詞の体系の中に組み込まれることになったと考えられよう。

③入れ物の名称が助数詞に用いられているもの

箱：箱に入っているもの。

袋：袋に入っているもの。

俵：主として米を入れた俵。

臼：主として臼に入った餅。

包み：紙に包まれたもの。

桶：桶に入ったもの。

④農作業の拗りや運搬を表すもの

背：背中に背負ったもの。自分の体の一部が助数詞となっている。

荷：自分の肩に担いだとき。

台：乗り物に乗せたとき。また、一般に用いられるように乗り物や車の付いた道具にも用いる。

農作業に関するその他の助数詞には、「稲束」のような束に対して用いられる「＝ツカミ、＝ニギリ→＝ハンデ→＝ソク」がある。小さな単位から大きな単位へと段階的に用いられており、しかも、＝ツカミにみられるように、自分たちの体の一部を一定の秤にしていることがわかる。かつての農作業が、手作業で行われていたことの証であろう。

以上の他に、あるまとまりに対する「くれ、ほっち、組」、金属でできた道具や子供の遊び道具のビー玉の「丁」、車の付いた道具に対する「台」などがある。

また、かつての生活をうかがい知ることができて興味深いのは、「宿泊の回数：晩」である。現在ほど頻繁に旅行に出掛けることもなく、農作業の暇なときに親戚の家へ泊まりに行くのが楽しみだったそうである。旅行の宿泊と同じ助数詞をつけない理由も想像できよう。

(あらいさえこ 作新学院女子短期大学)